

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	現在、看取りを行わない方針であるが、入所が長期化・重度化していく中で、ホームで穏やかに最期を看取りたいと要望される家族が多い。	見取りの指針について全職員で話し合い、ホームでの見取りについて意思の統一を図る。また、定期的に家族との話し合いの場を設け、思いを共有していく。	協力医療機関との契約内容を見なおし、訪問看護事業部との連携を強化する。見取りの指針について新たに書面で家族に同意を頂く。	2ヶ月
2	35	非常訓練が施設内だけの訓練となっているため、地域との協力体制が確立できていない。	非常訓練時に地域の消防団や近隣住民の協力をおおぐ。前回の計画で出来なかった炊き出し訓練を実行する。	地域消防団に運営推進会議への参加を依頼する。炊き出し訓練に計画の段階から、地域ボランティアに加わってもらい協力してもらう。	6ヶ月
3	13	外部研修への参加機会が減ってきている。	希望する研修に参加できるようにする。	研修の予定時は参加しやすいような勤務体制で対応できるようにする。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。